



# 八中だより



第14号

令和7年11月17日

府中市立

府中第八中学校

## ふれあい (いじめ 防止強化) 月間

〈在籍生徒数〉 一学年250名、二学年218名、三学年245名

全校生徒数713名

〈学校住所・電話番号〉

〒182-0035 府中市四谷一丁目二八二七

電話 〇四二(三六四)一八八一

★三年生の皆さんから十一月の全校朝会の校長講話の内容がおもしろかったという感想がとどきました。感謝!

『取り組んできたことを自分の言葉で熱く(情熱をもって)語る』

校長 高汐 康浩

まずは、3年生対象の面接実践練習の一場面を紹介します。

面接官『中学校では、部活動に特に一生懸命に取り組んだということですが、その活動をおして特に学んだことは何ですか?』

生徒『どんな活動でもその活動が自分たちにとって、そして、関係している人たちにとって『いい』活動であることが大切であるということをお願いしました。私たちの吹奏楽部の目指しているのは、いい演奏をするということです。いい演奏をするというのは、演奏している私たちにとっても、演奏を聴いてくれる人たちにとっても、例えば、その演奏で感動したり、楽しんだりできる、そんな演奏を目指しています。ですから、コンクールで金賞をとるとか、入賞するとか、そのようなこだわりはありません。』

面接官の私は、生徒の回答に重ねて、次の質問をしました。面接官『それは、あなたがいういい演奏をするために、どのような取組をしてきたのですか?』

生徒『コンクールとか演奏会の選曲にこだわりました。例えば、サマーコンサートなどでは、演奏を聴いてくださる方が、どのような曲であれば楽しんでくれるのか、感動してくれるのか、ポイントです。そこで、観客の皆さんに馴染みのある曲を選んだのです。結果的には、『ザ・ドリフターズ・メドレー』やアニメの『サザエさん』の曲を選びました。コンクールでもこの曲を演奏して、参観者に楽しんでもらいました。賞をいただく、ということよりも自分たちも、観客の皆さんも楽しむことができたと思います。音楽の本当の楽しさを追求してきました。』



面接後には、この生徒は、「ありがとうございました。この面接練習は、自分のやってきたことをしっかりと振り返る機会になりました。」と言って退室しました。

都立高校の『本校の期待する生徒の姿』(下記URL参照)には「自分の言葉」や「情熱」について触れられることが多いです。次に少しだけ紹介します。

★「自分の言葉」に着目してみると、  
★自ら考え、その考えを自分の言葉で他者に伝えていくことのできる生徒 (東高校)

★自分の意見を持ち、自分の言葉で表現できる生徒 (光丘高校)

「情熱」や「熱意」に着目してみると、

★生徒が学習、部活動、学校行事、生徒会活動の全てに情熱をもって取り組む (芦花高校)

★本校を志望する生徒には、…(略)…さらに発展させる推進力と熱意を求めます (武蔵野北高校)

など、多くの都立高校が自分のやってきたことを自分の言葉で表現できることや情熱や熱意をもっている生徒が進学することを期待していることがわかります。

八中の生徒の皆さんは、特に、学校行事などでは熱い気持ちで取り組んでいます。また、ときどき行う校長の突撃インタビューにも適切な言葉でわかりやすく表現することができま。これらのことは、日頃のさまざまな学びの成果だといえます。

面接練習に臨んだこの生徒は、部活動を行う意味をきちんと整理し、価値付けをしています。そして、そのことを自分の言葉で情熱的に語っているからこそ、自分の取組や成果を面接官に的確に伝えることができたのです。

【都立高等学校 令和8年度「本校の期待する生徒の姿」 ★URLをクリックしましょう!★

●全日制

[https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kyoiku/20250925\\_n2\\_28](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kyoiku/20250925_n2_28)

●定時制通信制

[https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kyoiku/20250925\\_n2\\_29](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kyoiku/20250925_n2_29)

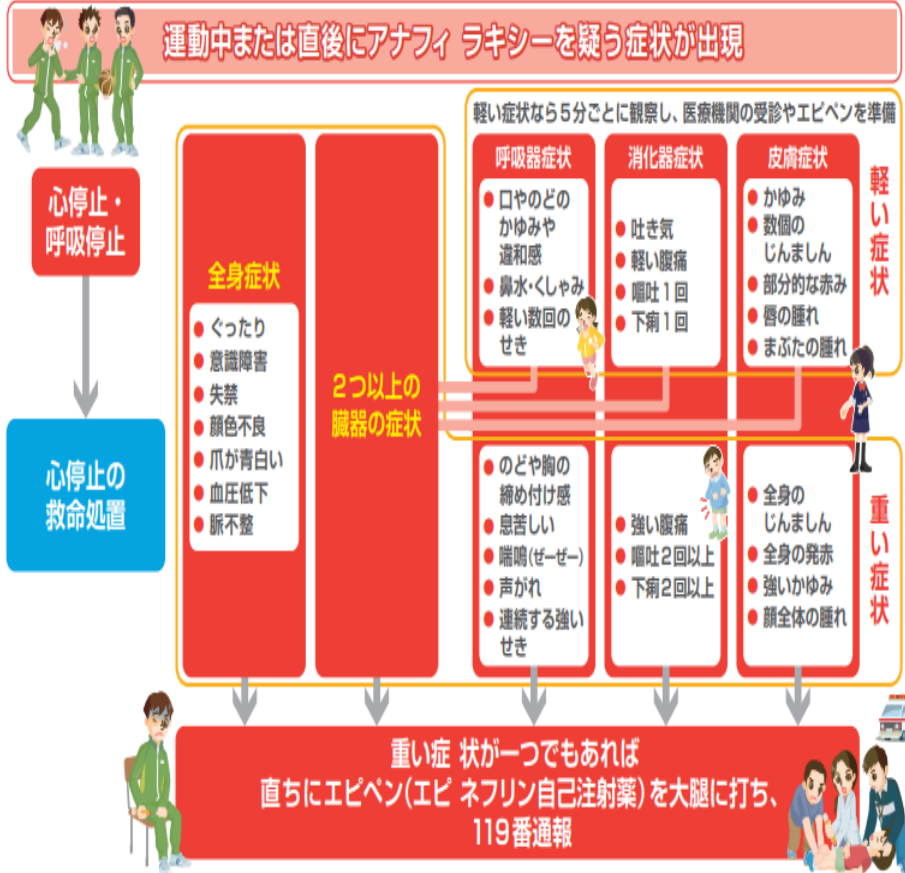
## 学校事故対応コーナー No.10

食物依存性運動誘発  
アナフィラキシーへの対応

連載で、学校での事故の対応についてお知らせしています。学校外での事故対応にも役立ちますので、ぜひ、内容をご確認ください。

食後2時間以内に起こることが多いが、4時間後でも起こることがある

運動中または直後にアナフィラキシーを疑う症状が出現



## 活躍する八中生

【敬称略】

★『NHKのご自慢』★

十一月二日に港区で行われた「NHKのご自慢」に出場し「ボーイフレンド」(aiko)を披露 一年 後藤 千歌

★第六十六回市民スポーツ大会秋季大会総合優勝★

閉会式では代表生徒「角嶋 優和・佐藤 ちとせ」に優勝杯と賞状が授与されました。

★剣道部★

十月十二日 第六十六回 府中市民スポーツ大会秋季大会 (中学校対抗) 男子中学一年生の部 優勝 四田 琉稀

※学校外でのスポーツ活動、文化活動等における生徒の活躍について学校だよりで紹介していますので、受賞等があった場合は学級担任にご連絡ください。



## 重要

今月は「ふれあい(いじめ)防止強化」月間です!

本校の「学校いじめ防止基本方針」(ホームページをご覧ください)に、左記のとおり「基本方針策定の意義」を定めています。

いじめの問題は、いじめを受けた生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与える。そのことよって当該生徒が登校できなくなったり、生命や身体に重大な危険を及ぼしたりする恐れがあり、このいじめ問題への対応は学校における最重要課題の一つであると捉える。府中市立府中第八中学校いじめ防止基本方針は、いじめの問題から一人でも多くの生徒を守るためにも「いじめは絶対に許されない」、「いじめはどの学校、どの学級でも起こり得る」という認識に立って、学校・家庭・地域住民・関係機関と緊密に連携し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応、重大事態への対処のための対策を総合かつ効果的に推進するために定めるものである。

「ふれあい月間」には、いじめ等の問題行動の早期発見・対応や未然防止につながる具体的な取組、スクールカウンセラーによる全員面接(一年)、アンケート、全校集会や学年、学級でのいじめ防止等に関する啓発、SOSの出し方に関する教育指導などを行います。

## 「児童虐待防止推進月間」です

厚生労働省の主唱により、平成十六年度から毎年十一月を「児童虐待防止推進月間」と位置付け、各機関が児童虐待防止に向けた啓発活動などを集中的に行っています。学校においては、引き続き、児童虐待の早期発見に向けた取組を行ってまいります。生徒の皆さんには、SOSの出し方に関する指導やさまざまな相談窓口についての周知を行っています。

## 八中二年生と四谷小、地域連携による水平避難行動体験実施!

本校の地域コーディネータの丸山 悦子 様、市川 勉 様を講師に、「水害への備えと構え」をテーマに防災に関する学習を実施しています。講義では「郷土の地勢と環境」、「氾濫状況シミュレーション」、「命を守る行動」、「水害時のさまざまな危険とその予測と回避」などの学習をしました。

十月十一日(土)には四谷小学校の児童と保護者の方、地域の皆さんとともに、水平避難行動体験を行い、「はけ上」までの避難行動を実際に行いながらマンホールなどの危険個所の確認等実地踏査(じっちとうさ)を行いました。

